

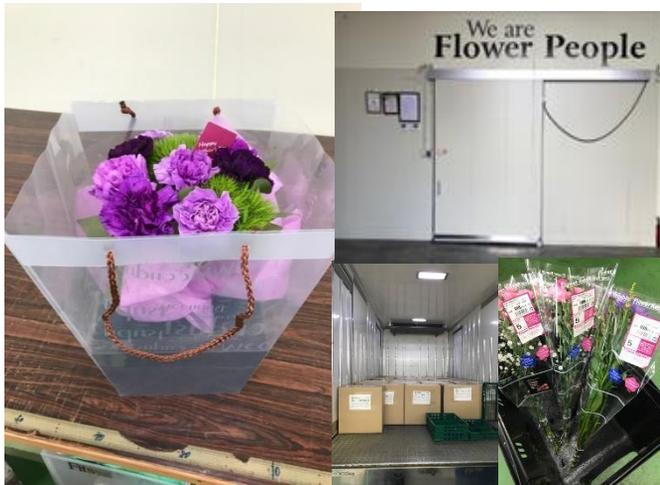
インパック株式会社

○弊社のめざすところ

弊社創業は1936年に始まります。1968年（株）守重商店として設立し、1983年までの間、包装資材の卸業を行って参りました。30年前に、生花包装資材の販売を始め、1987年にインパック株式会社に社名を変更、ホームユースを主体にした包装資材（スリーブ）の製造を開始し、更に花束加工機械の輸入元として販売とメンテナンスに力を注いで参りました。

また、弊社が生花包装事業を始めた1987年は量販店で花束をセルフ販売するモデルの初年度であり、本年は創業50年目の節目の年でもあります。

現在、弊社が掲げるホームユースフラワーの普及拡大の目的は「花を通して幸せな生活づくり」ととらえ、生花専門のパッケージメーカーとして事業展開、「リレーフレッシュネス」を推進し、鮮度保証（日持ち保証）を拡充していくことをめざしております。



○MPSへの取り組みと改善点

弊社のMPSへの取り組みは、市場より冷蔵車にて仕入れた花を運送し、加工場内は空調設備により20度以下を保ち作業を行っております。また、保管時の冷蔵庫内温は5度に設定し、仕入れより2日以内（繁忙期の仏花を除く）に加工を完了させております。

また、花の納品先には冷蔵車を使用し納品、コールドチェーンを確立し、花の鮮度・品質管理を行っております。MPS-GTPを取得し4年目を迎え、加工場の運用管理体系や品質管理体系も整ってきました。今後はMPS-GTPを基軸に作業効率と働く方々の健康管理に留意した運用に改善点を見出し、より良い加工場にしていく所存です。MPS-GTPを取得してからは、社員はもとより、加工場で働くパート従業員の方々もMPSの意義を感じながら作業していただけることが一番の収穫となっております。

○MPS-ABC参加社に向けての呼びかけ

鮮度管理を主軸に加工場を運用する弊社にとっては、切り前や出荷状況、運送状況がよりわかりやすくなっていると利用しやすさが増し、消費者訴求も行い易くなるのではないかと考えます。

色々な媒体を利用し、産地情報が得られる取り組みを望みます。またMPS-ABC取得社が増えることを期待しております。

○最近の商品取引状況や今後注目したい商品

弊社が納品させていただくお客様と月に1度定期的な打ち合わせを行っており、より消費者に訴求できる花の提案を行わせていただいております。

その中で、昨年12月よりシーズンフラワーとしてシック、ナチュラルをキーワードとした新たなアイテムを納品させていただいております。これは、旬の切花を主体にキーワードに合致した切花を合わせたミックス束で仕入市場にも協力をいただいております。販売状況も好調に推移しております。

また、納品先までコールドチェーンを確立、MPS基準で加工を行っているため、納品アイテム全てを日持ち保証させていただき、今後も納品先様、消費者の信頼にお答えしていきます。